編集ニュース

目まぐるしく変化する情勢にシャープに応える〈追録〉づくり

『花卉病害虫診断防除編』〈追録〉第1号編集奮闘記

農文協「農業総覧」編集室

『農業総覧　花卉病害虫診断防除編・全7巻』（以下『花卉病編』とする）の台本が完結したのは一九九九年一二月。いよいよ追録をスタートすることになった。かねてから花卉生産者や樹木医の方々など緑化関係者の方々から、「登録農薬がない」「農薬の情報が全く入らない」といった悩みを聞いていたが、企画・編集の過程でも、それを痛感させられた。著者の方々のお力で充実した内容の追録第一号がようやく完成間近になったが、ここでひとつ、編集担当者の企画の準備段階から完成までの苦労話をお聞きいただきたい。

企画の段階…花卉、緑化の新たな情勢に応えたい

今回で追録5号を迎える『農業技術大系花卉編』では、数年前からのガーデニングブームで新しい植物が膨大に導入されており、それらの新品目を次々と加えてきた。この『花卉病編』でもそれに応える内容にしたかった。

『花卉編』の企画のために、すでに豊明花卉市場やFAJの流通実績のデータを入手しており、急増している品目で抜けている品目をリストアップし、各県の試験場の先生方など専門家の方々に新たに収録すべき品目や病害虫をリストアップしていただいた。しかし、予想していたとはいえ、花卉にかかわる病害虫の専門家があまりにも少ないことがこの時点でよく分かり少々不安になった。

以上は草花の部分だが、「花木・庭木・緑化樹」の部分では途方もない手間暇がかかることになってしまった。公園などの子どもたちが直接触れる機会の多い場所にある植物であり、できるだけ防除を少なくしたいという希望が高まっている。そのためにより充実させたかった。

まずは、財・日本緑化センターにうかがい、公共用緑化樹木市場調査の「供給可能量・調達難易度調査書」をお分けいただいた。400ページを超える部厚い資料に圧倒されたが、これに収録されている主要な樹木を学名などとともに全て入力し、科名順に整理してリストを作成した（調査書にきちんと学名が掲載されていたのが助かった）。

ついでそのリストを都内のベテラン植木業者や樹木医の方々に、「病虫害に困っている樹種」をチェックしていただいた。さらに花木として生産が伸びているものもチェック。

こうした過程をへて、最近の都市緑化樹の動向のデータをもって、ようやく当初から実際に執筆者として予定していた、つくば市の独立行政法人森林総合研究所など樹木の病害虫の専門家の方々のところに相談にうかがった。ここではあくまでも「森林」の樹木の研究が中心であり、研究の対象が公園や街路、家庭に植えられている樹木とは異なると考えたからであった。ここに伺うまでに長い時間をかけた。

企画の完成から執筆依頼へ

こうして企画が固まり、内部の企画会議にかけた。

ヒペリカム、クリスマスローズなどの新品目。アザミウマ類が媒介して各産地で問題になっている各種のウイルス病を一挙に収録することにした。キク、トルコギキョウなどではそれらを媒介する難害虫も改訂して生態や防除法の内容を充実させたいと考えた。発刊時に収録できなかったバラの害虫も加える。しかも、施設栽培で問題になる害虫だけでなく、露地でしか発生しない害虫も重視した。イングリッシュローズの人気もあって、公園や家庭の庭にバラの植栽が多くなってきたからだ。花木・樹木についても新品目、重要病害を加えることにした。

編集…「無登録農薬問題」の渦中で

締め切りが迫ってきたころ、ご執筆をお願いした著者の方々からメールや電話が続々と入ってきた。内容のほとんどは「農薬の部分が書けない」というもの。新たな花卉、新病虫害が多いだけに登録農薬があろうはずがない。

これまで花卉、花木、緑化樹は登録農薬が少ないことで悩まされてきた。情報がほとんどないために、野菜などで登録されている薬剤を利用して、効果が全くなかったり、薬害に悩まされているのが実情であった。そこでこの『花卉病編』では、農薬情報を十分に提供するために、農薬については、登録農薬は◎、登録はないが効果はあると確認されているものは○と明確に区別して農薬情報を収録している。

しかし、「現在の情勢ではそれでも無理だ」というのだ。次々と届く原稿も、農薬については記述のないものが多かった。そこで著者校正時に次のような付箋をつけて、加筆をしていただくようお願いした。

「登録はないが、防除効果が確認されている」。あるいは「…の登録が望まれる」というかたちではどうか、と。このような形で書かれているほかの方の原稿のコピーを添えたりもした。

ありがたいことに、ほとんどの方がそれに応えていただき、加筆していただいた校正紙が戻ってきた。クリスマスローズの灰色かび病のように、「花卉共通」で登録されているもので効果があるものが発見できた例もあった。

＊

農業総覧、農業技術大系の追録はただ新しい情報を加えるだけでなく、それによって台本を新しくつくっていく仕事だと考えている。今回やり残したことも含め、まもなく、次回の追録に向けた企画の検討が始まる。

「農業技術大系」「農業総覧」加除（さしかえ）式書籍とは

●加除（さしかえ）式書籍は、通常の書籍とは異なり、ファイルのような形でひも綴じ・製本されております。

●日進月歩の農業技術など、試験研究機関と指導・現場を結んで編集した情報を差し替えれば「常に最新内容」の百科に更新していくことができます。

●したがって、いつまでも生きた農業百科として、ご利用いただくことができます。

【利用者の声：G農業大学校様】　入学する学生は普通高校卒業生が多い。農高卒業生でもそうだが、「現場」を知らない。農文協の「農業技術大系」は、「現場」を踏まえた編集内容だから学生には指定して使わせている。

■いつも現行の最新版を能率的に、経済的に

●雑誌「現代農業」をはじめ、地域と農業の動きをいち早くキャッチし、各編の技術・経営課題を先取りしたテーマを編集した「追録」（有料）を発行しています。

●この追録は、変更のあったページのみをさしかえ用として編集し、発行するもので、最新版をどこよりも早く能率的に定期購読の皆様にお届けしています。

●追録代金は、さしかえページ分のみですので、経済的です（年によって変更もありますが、現在年六〇〇〇円です）。

【利用者の声：＊T農協 営農指導部様】　新しく入ってきた若い職員に「さしかえ」をさせている。差替えることを通じて、「農業技術大系」に触れざるを得ない。どこに何が記載されているか、「読む」ことで、問題意識を持ったり、組合員からの問合せに利用したりという情報活用が出来るようになると思い、そうしている。

■台本のお届けと加除（さしかえ）

●当会では、農業動向・経営・栽培技術の最新情報などを「迅速に」そして「確実に」購読者へお届けするため、書店への委託販売ではなく、営業普及職員による訪問販売活動（直販）を行っています。

●追録は各編年1回編集発行しています。いちはやく編集情報をお届けするため、直送しています。

●直接当会職員が持参して、加除サービスしている場合は、どうしても遅くなります。この機会に「直送・お客さま自身による加除」をお薦めします。

●お客様自身による加除は、追録についている利用の手引きの全体の情報と「最新の追録農業情報」を把握できる利点があります。

●破汚損の表紙、その他装丁付属品や落丁頁は無償で補充させていただきます。お問い合わせは、農文協各地区地方事務所、もしくは地域形成センター、読者係までご連絡ください。

【Y農業試験場研究室様】　さしかえは、科長自ら追録到着1ヵ月以内にする。月1回行う科内研究会で、「利用の手引き」を利用して、話題提供をするようにして結構助かっている。

お知らせ

メール版 農文協通信発行

農業技術大系・農業総覧・同CD－ROM、ルーラル電子図書館などご利用の方へ、農業技術大系や農業雑誌、農業専門書の出版情報などを、いち早くメールでお届けします。ご希望の方は、メールアドレスとお名前（勤務先名）をお知らせください。発行都度、無料で送信いたします。内容としては、農業技術大系編集室での最新情報や編集者ならではの情報、ご利用者の声や通販書店「田舎の本屋さん」の出版情報などをコンパクトに編集します。

送信先
shop@mail.ruralnet.or.jp

農文協

【農文協ブックガイド】土つくりで

米ヌカを使いこなす

農文協編　田畑にまくだけで驚きの除草・肥料効果。ボカシ肥、秋・春施用、緑肥、半不耕起栽培で土着菌を強化すればさらに効果的。安定的で省力的な施用法・時期・量など、田畑での米ヌカ活用のすべて。●1700円

土着微生物を活かす
趙漢珪著　山・竹林・稲などにすむ微生物を採取して作った発酵肥料、漢方栄養剤、酵素等を栽培・飼育に活用。●1630円

発酵肥料のつくり方・使い方
薄上秀男著　製造法・効果的使い方、効果発現のしくみ、発酵菌の自家採取法について、科学的に緻密に解説。●1630円

木酢・炭で減農薬
岸本定吉監修、農文協編　土つくり、防除、消臭などその効果、品質の判断法、市販品の使い方、作り方まで。●1430円

竹炭・竹酢液のつくり方と使い方
岸本定吉監修、池嶋庸元著　木炭・木酢液にはない、不思議な力。放任管理の竹林も資源に変わる。●1800円

土壌微生物の基礎知識
西尾道徳著　土壌微生物の生態から連作障害、土壌管理との関わりまで、微生物の世界を知る格好のテキスト。●1680円

図解　土壌の基礎知識
前田正男・松尾嘉郎著　自然循環を基本にし、複雑な土の世界を図解。地力を高めていくための基礎。●1330円

土と微生物と肥料のはたらき
山根一郎著　土の性質と働き、微生物、肥料の性質と使い方、水田・畑土の管理などを一般向けにガイド。●1680円

VIDEO ビデオ　土着菌でボカシ肥つくり

「自然を活かす農法シリーズ」②

育苗器を使った種菌ボカシの量産で稲作にもたっぷり使用。野菜も稲も無農薬栽培で極上品質。

30分●6300円

VIDEO ビデオ　水田の米ヌカ除草法

「自然を活かす農法シリーズ」③

田んぼに流し込むだけで驚きの効果。その除草と肥料効果を実践例から示し、上手なやり方を紹介。

45分●10500円

ご注文は　農文協（社団法人 農山漁村文化協会）〒107-8668　東京都港区赤坂7-6-1　TEL.03-3585-1141　FAX.03-3589-1387　振替00120-3-144478　URL http://www.ruralnet.or.jp/　価格は税込